

BEFORE
YORITOMO

Why did Minamoto no
Yoritomo choose Kamakura



www.city.kamakura.kanagawa.jp/rekibun/koryukan.html

◆ 展示資料 ◆

- ◇ 弥生土器(水道山遺跡他出土)
- ◇ 須恵器横瓶(山崎横穴群出土)
- ◇ 頼朝一代記絵巻(鶴岡八幡宮所蔵)
- ◇ 木筒・天平五年銘(今小路西遺跡出土)
- ◇ 木製五輪塔婆(史跡鶴岡八幡宮境内出土)
- ◇ 天養記複製(神奈川県立歴史博物館所蔵) 他

2021.9.25(土) ~ 12.18(土)

鎌倉歴史文化交流館
Kamakura Museum of History and Culture

○主催/鎌倉歴史文化交流館(鎌倉市教育委員会) ○開館時間/10:00~16:00(入館は15:30まで) ○休館日/日曜・祝日 ※展示替・燻蒸休館:9月9日(木)~9月24日(金)
○観覧料/[一般] 300[210]円 [小・中学生] 100[70]円* ○住所/〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1 ○電話/0467-73-8501 ○FAX/0467-73-8545

※[]内は20名以上団体料金 *本料金で本館平常展示もご覧いただけます。*鎌倉市内の小・中学生と、市内の65歳以上の方、または障がい者手帳等の交付を受けた方と付き添い1名は無料となりますので、受付に学生証・福寿カード等を呈示してください。

新型コロナウイルス感染予防対策を実施しております。

以前 頼朝

源頼朝はなぜ鎌倉を選んだか

治承四年(二八〇)、石橋山の合戦で敗北を喫した源頼朝は、房総半島から武蔵国を経て、相模国に頼朝が入ります。さらに八幡宮を現在の場所に移し、大倉の地を御所と定め、一五〇年続く鎌倉幕府の基礎を築いていきました。以後鎌倉は、武家政権の象徴として歴史の表舞台に立つことになりました。

では、源頼朝の入部以前、鎌倉はどのような場所だったのでしょうか。鎌倉幕府の歴史書『吾妻鏡』には「所素辺鄙、而海人野叟之外ト居之類少之、(鎌倉は元々辺鄙なところなので、漁師や農民以外、居を定めようという者は少なかった)」（治承四年十二月十二日条）と記されています。しかし市内の発掘調査では、原始・古代の人々の生活の跡や埋葬の痕跡、奈良時代の郡家の遺構や「天平五年」の銘をもつ木簡が見つかり、『吾妻鏡』の記述とは異なる鎌倉の姿、地域の要衝としての一面が明らかになっています。また伊勢神宮の文書を集めた『天養記』には、頼朝の父義朝が館を構えていたことが記されており、頼朝以前の鎌倉の姿を伝えています。

本展では、市内の発掘調査で見つかった原始・古代の出土品や、鎌倉時代以前の鎌倉を記した歴史資料から、頼朝以前の鎌倉の歴史に迫ります。



頼朝代記絵巻・鶴岡八幡宮所蔵



弥生土器 水道山遺跡出土



須恵器平瓶 山崎横穴群出土



木製五輪塔婆 史跡鶴岡八幡宮境内出土



須恵器横瓶 山崎横穴群出土



木簡(天平五年銘) 今小路西遺跡出土

鎌倉歴史文化交流館

開催期間 / 令和3年(2021年)9月25日(土)~12月18日(土)
 開館時間 / 10:00~16:00(入館は15:30まで)
 休館日 / 日曜・祝日 ※展示替・燻蒸休館:9月9日(木)~9月24日(金)
 観覧料 / 〔一般〕300〔210〕円 〔小・中学生〕100〔70〕円※
 住所 / 〒248-0011 鎌倉市扇が谷1-5-1
 電話 / 0467-73-8501 FAX / 0467-73-8545
 mail / rekibun@city.kamakura.kanagawa.jp

※〔 〕内は20名以上団体料金 *本料金で本館平常展示もご覧いただけます。
 *鎌倉市内の小・中学生と、市内の65歳以上の方、または障がい者手帳等の交付を受けた方と付き添い1名は無料となりますので、受付に学生証・福寿カード等を呈示してください。

アクセス / JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分
 *一般用の駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。
 *障がい者等用駐車場をご利用の方は事前にご連絡ください。

新型コロナウイルス感染予防対策を実施しております。

